

28th

MACS

2025 コロキウム 2025年度 MACS 学生説明会 4月25日(金)

14:45~18:30

開催場所
理学研究科セミナーハウス
(対面のみ)



ティータイムディスカッション (14:45~15:00)

第28回 MACS コロキウム (15:00~16:00)

「折り紙にひそむ数学：カライドサイクルの幾何学」

鍛冶 静雄 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 教授 兼
京都大学理学研究科附属サイエンス連携探索センター 教授)

カライドサイクルという折り紙をご存知でしょうか。環状につながった四面体をクルクルと滑らかに回すことができ、不思議な楽しさがあります。一見ただのおもちゃのようなカライドサイクルですが、この動きの背後には幾何学や機構学に関係する豊かな構造が潜んでいることが分かってきました。この講演では、「なぜ回るの？」という素朴な疑問から広がった研究を、未解決問題を交えながら紹介します。

2025年度 MACS 学生説明会 (16:15~17:20)

スタディーグループ (SG) の代表教員・参加教員による企画説明 (各5分)

- ・データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
代表教員：坂上 貴之 (数学・数理解析専攻)
- ・物理と生物をつなぐ
代表教員：佐々 真一 (物理学・宇宙物理学専攻)
- ・生命のダイナミクス：本物を観て (観察) そして考える (数理)
代表教員：高橋 淑子 (生物科学専攻)
- ・宇宙医学：宇宙滞在時における生理学・医学的観点からの考察
代表教員：寺田 昌弘 (サイエンス連携探索センター)
- ・理化学研究所と京大 MACS で築く数理交流プラットフォーム
代表教員：石川 勲 (サイエンス連携探索センター)
- ・自然現象の構造把握：点から線、線から面へ
代表教員：松本 剛 (物理学・宇宙物理学専攻)
- ・科学技術をめぐる倫理的・法的・社会的課題
代表教員：清水 雄也 (サイエンス連携探索センター)
- ・学習物理学：機械学習と理学の融合
代表教員：棚橋 典大 (学習物理学特別講座)
- ・XR で見る・3D で触る先端科学
代表教員：稲生 啓行 (数学・数理解析専攻)
- ・みんなで学ぶ数理物理
代表教員：楠岡 誠一郎 (数学・数理解析専攻)
- ・暗号理論の数理と社会実装
代表教員：伊丹 将人 (サイエンス連携探索センター)
- ・外れ値でみる理学
代表教員：宮路 智行 (数学・数理解析専攻)
- ・誰も見たことのないものを見るための技術
代表教員：富田 夏希 (物理学・宇宙物理学専攻)

継続討論会 (17:30~18:30)

コロキウム講演者・SG参加教員との自由な情報交換会

今年度のSGの情報はQRコードから得ることができます >>



鍛冶 静雄 教授



●備考

◎本コロキウムは理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学・理化学研究所に在籍されている方はどなたでもご参加いただけます。

◎SGの参加対象は主に理学部・理学研究科の学生が参加対象です。それ以外の学生の登録も可能ですが、参加希望者多数の場合は調整の可能性があります。

◎問い合わせ先：macs * sci.kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)

理化学研究所 数理創造プログラム (iTHEMS) 協賛
iTHEMS



MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
[macs京大] [検索]